

特別展



せいとうきんぎょさきゆうぼう  
〈青銅鍍金蓋弓帽〉(花部)



せいとうきんぎょざうがんかん  
〈青銅金銀象嵌環〉

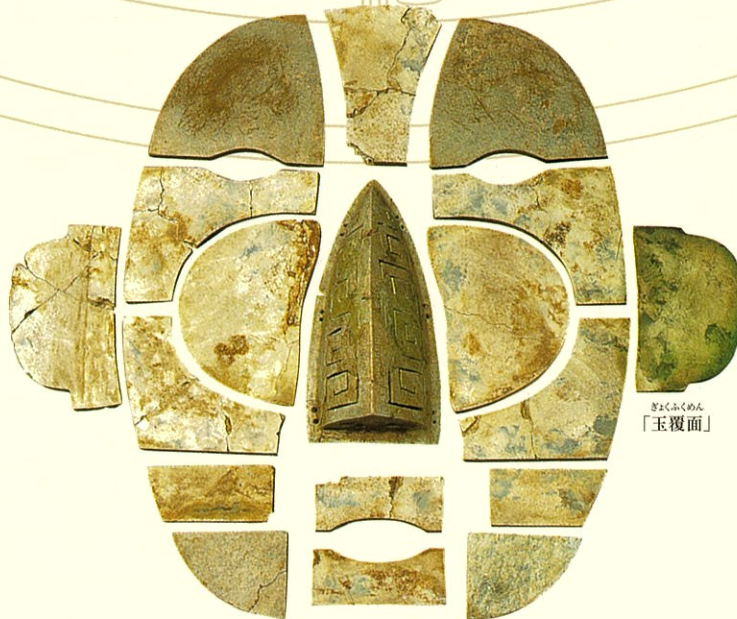
# 漢代

# 王車

Ob-Sya

# の輝き

—中国山東省双乳山濟北王陵出土文物—



ぎよくふくめん  
「玉覆面」

平成13年 4月21日(土)~6月10日(日)  
山口県立萩美術館・浦上記念館

月曜休館/ただし、4月30日は開館。開館時間/9:00~17:00(入場は16:30まで)

主催=山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、読売新聞西部本社、KRY山口放送  
後援=萩市

観覧料=一般1,000(800)円、学生800(600)円

※( )内は20名以上の団体料金。18歳以下の方及び高等学校、盲・聾・養護学校に在学する生徒は無料。

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1 TEL0838-24-2400 URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.jp/>



せいとうきんぎょざうがんかん  
〈青銅鍍金銀象嵌環〉



せいとうきんぎょせんしよく  
〈青銅鍍金鞋飾〉



# 特別展 漢代「王車」の輝き

—中国山東省双乳山濟北王陵出土文物—

わが国弥生時代の社会形成や生活文化に多大な影響をおよぼした「漢」文化の実像を示す、壮麗な文物を紹介します。

中国山東省にある双乳山濟北王陵からは、前漢王朝における諸侯国の在り方や、その豪華な宮廷生活をうかがい知ることができる各種文物が多数出土しました。なかでも、墓中出土の5輦の車は、残存状態が良好なうえ、車の形式・規格も各種揃っており、漢代の車馬制度を知るうえで非常に貴重な資料となっています。

本展覧会は、玉製、金製、青銅製など、同墓から出土した漢代工芸の精品69件（442点）を車馬制度に関わる遺物に焦点をあてて紹介するものです。あわせて、わが国出土の漢代車馬具や最新の研究成果を反映させた馬車の復原模型など関係資料も展示します。中国と日本文化の深い関わりを考える一つの機会としていただければ幸いです。

## 記念講演:

### ①「漢代「王車」の実態を探る」

講師: 崔 庸氏 (山東省済南市文物考古研究所所長)  
日時: 4月21日(土) 10:30~12:00  
場所: 当館講座室<聴講無料>

### ②「漢代の王墓」(兼、平成13年度第1回美術講座)

講師: 黄 晓芬氏 (東亜大学総合人間・化学部教授)  
日時: 5月3日(木・祝) 13:30~15:00  
場所: 当館講座室<聴講無料>



〈玉璧〉



〈青銅鍍金蓋弓帽〉



〈青銅鍍金車書〉



〈玉握〉

## ギャラリーツアー:

- 担当学芸員による作品解説です。  
毎週日曜日、11:00~12:00  
<参加無料、ただし観覧料は必要です>

## 同時開催:

- 浮世絵展示 / 月岡芳年 風俗三十二相  
4月21日(土)→5月13日(日)  
／歌川広重 江戸名所の世界  
5月15日(火)→6月10日(日)
- 東洋陶磁展示 / 緑釉・三彩・鉛釉陶の展開—  
4月21日(土)→8月19日(日)

## 萩市・イベントガイド:

- 牡丹・つつじまつり (萩城跡指月公園)  
4月21日(土)・22日(日)
- 萩焼まつり (萩市民体育館)  
5月1日(火)→5日(土・祝)
- 萩・大茶会 (萩城跡指月公園)  
5月3日(木・祝)・4日(金・休)
- 萩・夏みかんまつり (萩城跡指月公園)  
5月13日(日)
- おしくらごう (橋本川下流) 6月3日(日)



〈青銅燗炉〉



〈青銅鍍金鞍角〉



〈金餅〉



〈玉枕獣頭〉



JR東萩駅=タクシー10分 / 萩循環まあ〜るバス20分  
JR小郡駅=バス70分(萩バスセンター下車徒歩15分)  
石見空港(島根県益田市)=バス75分(萩バスセンター下車徒歩15分)  
中国自動車道=小郡I.C. 美祿I.C. から各50分

山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1  
TEL0838-24-2400 / FAX0838-24-2401  
<http://www.hum.pref.yamaguchi.jp>



〈青銅金銀象嵌車轅〉

## ご観覧割引券

本券ご持参の方は、観覧料を100円割引いたします。

## ご観覧割引券

本券ご持参の方は、観覧料を100円割引いたします。